

2013年度 通常総会議事資料

<2013/6/9>

<議 事>

- | | |
|--------|--|
| 1 日 時 | 2013年6月9日（日） 13:00～15:00 |
| 2 会 場 | つくば市民大学キャンパス（茨城県つくば市東新井15-2-5階） |
| 3 付議事項 | 第一号議案 2012年度事業報告および収支決算の承認を求める件
第二号議案 2013年度事業計画および収支予算の決定を求める件
第三号議案 ウニベルシタスつくば役員の選任を求める件 |

ウニベルシタスつくば

<第1号議案> 2012年度事業報告および収支決算の承認を求める件

2012年度事業報告書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

ユニベルシタスつくば

2012年度は、「より『実践』を意識した『学習』へ」というテーマを掲げて事業に取り組みました。つくば市民大学は「世代や立場、組織の枠をこえて学び、交流するなかから、地域や社会の課題を解決するために私たち自身ができることを探っていく場」であり、従前より「課題解決＝実践」を意識した実践的な企画・運営を念頭に置いてきましたが、2012年度は特に以下の3点を事業計画の柱とし、着実に実行することで、一定の成果を収めることができました。

「新しい公共による若年層就労支援モデル事業」への挑戦

一昨年、つくば市民大学では、「つくば市内外のさまざまな団体・組織が持つ強みを掛け合わせ、弱みを補い合うことで、単独では実現し得ない社会的なアクションを生み出すこと、そのためのプラットフォームを創り出すこと」（2011年度事業計画書より抜粋）への挑戦として、公開講座の開催を起点として、県・市、NPO、株式会社というマルチセクターによる発達障害者の就労支援事業の可能性を探ってきました。2012年度はその成果として、「新しい公共の場づくりのための提案型モデル事業」の一環として、茨城県障害福祉課・つくば市障害福祉課・NPO法人鱸づな会・株式会社Kaizenとともに5団体で「つくば発達障害就労支援協議会」を構成し、「発達障害のある若年層への就労支援モデル事業」に取り組むことで、「既存の福祉制度の狭間にあり、意欲はあっても無業状態で滞留している発達障害（疑い含む）の若者たちに向け、特性に合った職業訓練を実施することを軸に、就労に結びつける支援体制の確立と県民へのわかりやすい情報発信により、彼らを受け入れ、その特性を活かすことのできる、温かく活気ある地域社会の構築」（同事業申請書より抜粋）に寄与しました。

「フューチャーセンター」を意識した場の運営

近年、「組織を超えて、多様なステークホルダーが集まり、未来志向で対話し、関係性をつくるなかから創発されたアイデアに従い、協調的アクションを起こしていくための、つねに開かれた場」である「フューチャーセンター」という概念が大きな注目を集めています。従前よりつくば市民大学は、一方的な知識伝達ではない、参加型・体験型の相互作用の学びを重視してきましたが、公開講座「フューチャーセッション・地域×アート」において、このフューチャーセンターの思想と方法論を取り入れることで、「地域や社会の課題を解決するために私たち自身ができることを探っていく場」としての一層の進化に挑戦しました。

4つのテーマによる「学科制」の導入

つくば市民大学のカラー（取り組むテーマ）を明確にするため、2012年度より、テーマ別の「学科制」を導入し、共催講座・自主講座を含め、すべての講座はいずれかの学科に属する形としました。

- ・持続可能な地球を考える「サステナビリティ学科」：10講座開講
- ・多様性のある社会を考える「ダイバーシティ学科」：6講座開講
- ・地域や社会のあり方を考える「コミュニティ学科」：18講座開講
- ・暮らし方・働き方を考える「ライフスタイル学科」：18講座開講

以下、事業の詳細について報告します。

A. 講座・イベント等

【主催講座】

講座名および実施状況	従事者	受益者
【サステナビリティ学科】		
■ともに学び考えよう 持続可能なエネルギーの未来		
1 学期：全 8 回実施 (4/18、5/2・16・30、6/13・27、7/11・25)	16	37
2 学期：全 8 回実施 (8/8・22、9/5・19、10/3・17、11/7・21)	16	37
3 学期：全 6 回実施 (12/5・19、1/9・23、2/13、3/6・20)	12	38
■きいてみる・はなしてみる ちょっと昔の「くらし」と「エネルギー」		
3 学期：全 1 回実施 (2/11)	2	7
【ダイバーシティ学科】		
■男子、女子、そうでない人？		
3 学期：全 2 回のうち 1 回実施 (3/23)	2	7
【コミュニティ学科】		
■対話ファシリテーター育成講座		
1 学期：全 4 回実施 (4/1、5/6、6/3、7/1)	8	44
2 学期：全 4 回実施 (8/5、9/2、10/7、11/4)	8	30
3 学期：全 6 回実施 (12/2、1/6・27、2/17、3/10・31)	12	64
■市民活動交流会		
2 学期：全 2 回実施 (10/18、11/15)	6	19
3 学期：全 2 回実施 (12/12、1/16)	6	13
【ライフスタイル学科】		
■ブックトーク・カフェ		
1 学期：全 4 回実施 (4/1、5/6、6/3、7/1)	8	26
2 学期：全 4 回実施 (8/5、9/2、10/7、11/4)	8	28
3 学期：全 4 回実施 (12/2、1/6、2/3、3/3)	8	26
■サロン de BOYAKI		
1 学期：全 28 回実施 (4/5～7/31)	28	75
2 学期：全 24 回実施 (8/2～11/29)	24	31
3 学期：全 15 回実施 (12/7～3/28)	15	50
■昭和を語る、昭和を伝える		
2 学期：全 1 回実施 (10/6)	3	16
■市民の眼で見た隣の国ぐに		
3 学期：全 1 回実施 (2/24)	2	17
■つくば市民大学学園祭		
3 学期：全 1 回実施 (3/30)	6	54
	受益者のべ人数	619

【公開講座】

講座名および実施状況	従事者	受益者
【サステナビリティ学科】 ■夏休み特別企画・親子向けお天気教室 2 学期：全 1 回実施（8/18）	2	33
【ダイバーシティ学科】 ■警女文化にさわる 2 学期：全 1 回実施（12/1）	3	50
【コミュニティ学科】 ■フューチャーセッション・地域×アート 2 学期：全 1 回実施（11/29） 3 学期：全 2 回実施（1/25、3/5）	4 8	25 33
受益者のべ人数		141

【共催講座】

講座名および実施状況	従事者	受益者
【サステナビリティ学科】 ■つくろう！科学の輪 1 学期：全 1 回実施（7/29） 2 学期：全 1 回実施（11/3） 3 学期：全 1 回実施（3/2）	2 2 2	33 20 29
■里山入門 2 学期：全 5 回実施（9/25、10/9、10/23、11/6、11/20） 3 学期：全 6 回実施（12/4、1/29、2/12・26、3/12・26）	10 12	54 43
【ダイバーシティ学科】 ■いっしょに楽習会 1 学期：全 2 回実施（4/21、7/28） 2 学期：全 3 回実施（9/23、10/21、11/10） 3 学期：全 1 回実施（1/26）	4 6 2	28 35 8
■定住外国人との共生に関する連続円卓フォーラム 3 学期：全 3 回実施（2/12・27、3/19）	6	47
【コミュニティ学科】 ■楽楽大学・TSUKUBA を語ろう 2 学期：全 1 回実施（9/30）	2	21
■NPO 組織基盤強化プロジェクト 2 学期：全 5 回実施（8/22、9/5、9/20、10/3、10/24）	10	120
■市民活動支援施設の魅力アッププロジェクト 2 学期：全 4 回実施（10/9、10/23、11/1、11/28）	8	62
■つくば市民活動・協働フォーラム 3 学期：全 1 回実施（2/16）	3	33

【ライフスタイル学科】 ■時代を生き抜くローカルエコビジネスを考えよう 2 学期：全 4 回実施（10/11、10/25、11/8、11/28） 3 学期：全 7 回のうち 4 回実施（12/6・20、2/21、3/7） ■わたし☆アート ワークショップ 3 学期：全 1 回実施（3/9）	8	17
	8	17
	2	1
受益者のべ人数		568

【自主講座】

講座名および実施状況	従事者	受益者
【コミュニティ学科】 ■「ソーシャルメディア」×「地域活性化」ワークショップ 2 学期：全 1 回実施（9/1）	1	27
■facebook ブラッシュアップ講座 2 学期：全 1 回実施（9/29）	1	21
■コミュニティサポーター養成講座 2 学期：全 1 回実施（10/28） 3 学期：全 1 回実施（2/9）	1 1	17 13
■楽しいコミュニケーション講座 2 学期：全 2 回実施（10/2、11/6） 3 学期：全 1 回実施（12/3）	2 1	8 4
■広げよう！深めよう！アイスブレイク講座 3 学期：全 1 回実施（2/2）	1	8
【ライフスタイル学科】 ■「引き寄せの法則」セミナー 1 学期：全 2 回実施（4/29、6/23）	2	86
■なりたい自分になる！一歩踏み出す自分養成講座 1 学期：全 1 回実施（5/29）	1	7
■おためし！わたし☆アート ワークショップ 2 学期：全 2 回実施（8/5、11/4）	2	11
■かんたん手相教室 2 学期：全 3 回実施（10/16、10/30、11/13） 3 学期：全 3 回実施（1/22、2/19、3/19）	3 3	35 15
■自分を磨いて自分力 UP！ 3 学期：全 1 回実施（12/8）	1	12
■歴史トーク・カフェ 3 学期：全 6 回実施（1/12・26、2/9・23、3/9・23）	6	35
受益者のべ人数		299

【会場使用】

団体名	日程	従事者	受益者
(特活) 茨城 NPO センター・ commons	5/8 他全 16 回	16	307
(社福) 浩喜会	8/26、9/25、10/25	3	21
(特活) フードバンク茨城	11/14、3/13	2	24
つくば発達障害就労支援協議会	8/31 他全 5 回	5	114
受益者のべ人数			466

【参考・過年度との比較】

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
主催講座	4 講座・ 15 回 受講者 38 名	12 講座・ 28 回 受講者 208 名	16 講座・ 74 回 受講者 446 名	19 講座・ 124 回 受講者 619 名
公開講座	5 講座・ 6 回 受講者 52 名	5 講座・ 5 回 受講者 140 名	2 講座・ 2 回 受講者 90 名	4 講座・ 5 回 受講者 141 名
共催講座	14 講座・ 62 回 受講者 559 名	14 講座・ 31 回 受講者 411 名	12 講座・ 22 回 受講者 267 名	16 講座・ 43 回 受講者 568 名
自主講座	6 講座・ 44 回 受講者 747 名	14 講座・ 20 回 受講者 211 名	14 講座・ 29 回 受講者 325 名	14 講座・ 26 回 受講者 299 名
合計	29 講座・ 127 回 受講者 1,396 名	45 講座・ 84 回 受講者 970 名	44 講座・ 127 回 受講者 1,128 名	53 講座・ 198 回 受講者 1,627 名
会員数	52 名・団体	83 名・団体 (継続 25・新規 58)	119 名・団体 (継続 49・新規 70)	170 名・団体 (継続 70・新規 100)
利用者数	1,795 名	2,715 名 (うち 1,025 名は支援物資提供者)	1,668 名	3,085 名 (うち 640 名は就労支援訓練生)

B. 企画・運営のための会務

- ・ 総会 6 月 24 日 (日) 13:00～15:00
- ・ 運営委員会 8 月 8 日 (水) 17:00～19:00
- 12 月 6 日 (木) 10:00～13:00
- 3 月 28 日 (木) 10:00～12:30
- ・ 幹事会 4 月 26 日 (木) 10:00～12:30
- 7 月 11 日 (水) 17:00～19:00

C. その他特記事項

- ・ つくば発達障害就労支援協議会の事務局を担当 (5 月～3 月)
- ・ 「ユニベルラジオ」の放送回数が 100 回を突破 (6 月)
- ・ つくば市民大学 web サイトをリニューアル (10 月)
- ・ 「つくばスタイル縁日」の「その場で縁日」へ参加 (10～12 月)
- ・ 台湾・雲林県社区大学からの視察団受け入れ (11 月)
- ・ 会員から寄贈いただいた書籍をろうきんエコブック制度「Re-Book」へ寄贈 (1 月)

2012年度 会計収支報告書
2012年4月1日から2013年3月31日まで

ユニベルシタスつくば

科 目	金額 (単位:円)	
I 経常収入の部		
1 市民大学事業(協働パート)にかかる収入		
事業委託料 中央ろうきん社会貢献基金	3,000,000	3,000,000
2 市民大学事業(自主パート)にかかる収入		
個人会費 500円×146名	73,000	
団体会費 1,000円×24団体	24,000	
講座受講料 主催講座・公開講座	312,700	
運営協力費 自主講座・会場使用	157,000	
その他収入 講演謝金、書籍委託販売等	207,060	773,760
3 就労支援事業にかかる収入		
寄附金 コーヒーを通じた寄附	5,800	5,800
経常収入合計		3,779,560
II 経常支出の部		
1 市民大学事業(協働パート)にかかる支出		
講師謝金 源泉税込	505,000	
講師交通費 乗車券・駐車券代	9,740	
講座コーディネート費 源泉税込	700,000	
スタッフ人件費 受付スタッフ日当	1,555,500	
広報費 広告宣伝費	68,000	
事務消耗品費 事務用品・消耗品費	37,522	
通信費 郵便代・宅配便代	78,140	
什器備品費 円卓等	0	
外部委託料 サーバ・ドメイン維持管理費等	183,700	3,137,602
2 市民大学事業(自主パート)にかかる支出		
運営コーディネート費	0	
交通宿泊費 会議交通費	10,850	
会議費 運営委・幹事会日当(12回)	43,500	
その他支出 講演派遣、書籍仕入、講座茶菓等	205,549	
支払手数料 振込手数料	6,590	266,489
3 就労支援事業にかかる支出		
交通宿泊費 会議交通費	15,350	
会議費	0	
通信費	0	
その他支出 寄附用コーヒー仕入	3,882	19,232
経常支出合計		3,423,323
経常収支差額		356,237
III その他資金収入の部		
受取利息	274	
その他資金収入合計		274
IV その他資金支出の部		
事業委託料返戻 過年度分	197,702	
その他資金支出合計		197,702
当期収支差額		158,809
前期繰越収支差額		911,424
次期繰越収支差額		1,070,233

2012年度 会計貸借対照表
2013年3月31日現在

ユニベルシタスつくば

科目・摘要		金額 (単位:円)		
I 資産の部				
1 流動資産				
現金		92,733		
普通預金	中央労働金庫つくば支店	1,049,542		
前払費用	就労支援事業交通費	12,500		
未収入金	運営協力費	0		
	流動資産合計		1,154,775	
2 固定資産				
	固定資産合計	0		
	減価償却累計額	0		0
	資産合計			1,154,775
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	講座コーディネート費、スタッフ人件費等	0		
前受金	2013年度年会費	32,500		
預り金	源泉徴収税預り金	2,042		
	流動負債合計		34,542	
2 固定負債				
	固定負債合計		0	
	負債合計			34,542
III 正味財産の部				
元入金			50,000	
前期繰越正味財産			911,424	
当期正味財産増加額			158,809	
	正味財産合計			1,120,233
	負債及び正味財産合計			1,154,775

2012年度の事業報告書ならびに収支報告書を作成提出いたします。

2013年4月25日

ユニベルシタスつくば 代表幹事 徳田 太郎 印

監査報告書

ユニベルシタスつくば 代表幹事 徳田太郎 殿

ユニベルシタスつくばにおける、2012年4月1日から2013年3月31日までの会計および会務の執行状況を監査いたしました。

監査の結果、本会の財務諸表は2012年度の収支および年度末における財政状況を適正に示しており、会務の執行は適正妥当であることを認めます。

2013年4月25日

ユニベルシタスつくば 監事 井口百合香 印

第1号議案付属資料：「つくば発達障害就労支援協議会」2012年度事業報告および収支決算（抜粋）

※「発達障害のある若年層への就労支援モデル事業」の実施主体は「ユニベルシタスつくば」ではなく「つくば発達障害就労支援協議会」となるため、同事業の事業報告および収支決算は本総会での議決対象ではありませんが、冒頭にも記しました通り、つくば市民大学での取り組みの延長線上にあるものとして、ユニベルシタスつくばが事務局機能を担いましたので、ここに付属資料として掲載いたします。

1. 事業報告

事業概要	<p>既存の福祉制度の狭間にあり、意欲はあっても無業状態で滞留している発達障害（疑い含む）の若者たちに向け、特性に合った職業訓練を実施することを軸に、就労に結びつける支援体制の確立と県民へのわかりやすい情報発信により、彼らを受け入れ、その特性を活かすことのできる、温かく活気ある地域社会の構築をめざす。</p>
事業内容及び成果	<p>(1) 訓練事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1期生（9月24日～11月16日）：8名で訓練開始、5名が修了。修了生のうち1名が就職決定、1名が就活中、1名が就労移行支援通所、2名が訓練継続。 ・2期生（11月19日～1月18日）：6名で訓練開始、4名が修了。修了生のうち3名がアルバイト・就活中、1名が訓練継続。 ・3期生（1月21日～3月15日）：4名で訓練開始、4名が修了。修了生のうち1名が就職決定、2名がアルバイト・就活中。 <p>→計18名の訓練生に対して、①就労に向けた実践的な体験とその振り返りの機会を提供し、自身についての理解を深めることを助ける、②就労上の課題と必要な支援を整理し、就労（障害者雇用での就労等を含む）に向けての道筋を考えていくことを助ける、③基本的なマナーや職業行動を学習し、自身の職業準備性を確認するための機会を提供する、という3つの役割を十分に果たすことができた。結果、2名の就職が決定したほか、6名が前向きに就職活動に取り組んでいる。</p> <p>(2) 啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント：2月19日、つくば市民大学にて「発達障害者と共に働く」セミナー開催。内容は、株式会社 Kaien の鈴木慶太さんによる講演「大人の発達障害とは～特性の理解と合う仕事・合わない仕事～」、株式会社筑波銀行の磯田憲一さん・井坂謙司さん・植松務さんによる事例紹介「企業から見た発達障害者就労」。当日の参加者はスタッフ含め54名。 ・リーフレット：「発達障害者と共に働く」（A4版8頁）を2,000部発行。円卓会議を構成する16機関、県内の全ハローワーク、障害者就業・生活支援センターに各20～70部を送付したほか、茨城県内に本社があり、障害者雇用不足人数2名以上の事業所164ヶ所に各1部を送付した。 <p>→セミナーには54名が参加し、参加者へのアンケート（34名が回答）では、「本日のイベントで、今後の障害者雇用をお考えいただく際のヒント（新しい知識や技術）が得られましたか？」という問いには、29名が「非常に得られた／得られた」と回答、「本日のイベントに参加する前と後とで、障害者雇用に関する思いや考えに変化がありましたか？」という問いには、27名が「非常に変化した／変化した」と回答するなど、高評価を得た。またリーフレットは、2012年度末時点で1,200部を各種支援機関や県内事業所に届けることができた。</p> <p>(3) 地域円卓会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回円卓会議：8月31日開催。協議会メンバー5団体のうち5団体・7名、その他の企画推進委員会メンバー11団体のうち7団体・11名が出席し、計12団体・18名で、提案型モデル事業選定の経緯を確認するとともに、事業推進主体（協議会および企画推進委員会の位置づけ）の整理、第1期生募集に関する意見交換、今後の事業の進め方に関する意見

	<p>交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3回円卓会議：11月13日開催。協議会メンバー5団体のうち5団体・6名、その他の企画推進委員会メンバー11団体のうち4団体・7名が出席し、計9団体・13名で、第1期生の訓練状況の確認、啓発事業の実施に関する意見交換、次年度の事業継続に向けた体制に関する意見交換を行った。 ・第4回円卓会議：1月16日開催。協議会メンバー5団体のうち5団体・6名、その他の企画推進委員会メンバー11団体のうち6団体・8名が出席し、計11団体・14名で、第2期生の訓練状況の確認、啓発事業の実施方法の検討、次年度の事業継続に向けた意見交換を行った。 ・第5回円卓会議：3月25日開催。協議会メンバー5団体のうち4団体・5名、その他の企画推進委員会メンバー11団体のうち7団体・10名が出席し、計11団体・15名で、第3期生の訓練状況の確認、啓発事業の実施状況の確認、次年度の事業継続に向けた方針と体制の決定を行った。 <p>→公的・民間の支援機関、親の会、企業関係者計16団体からなる企画推進委員会において、事業開始前の1回も含め計5回の円卓会議を開催した。これにより、新しいつながりができるとともに、既存のつながりも強化され、知見の共有のみならず、長期的な支援体制の礎を築くことができた。</p>
<p>今 後 の 展 望</p>	<p>(1)体制・組織</p> <ul style="list-style-type: none"> －訓練事業・啓発事業の実施主体としての、5団体からなる「つくば発達障害就労支援協議会」は、決算・監査後の総会における決議をもって解散する。 －代わりに、「企画・推進委員会」（協議会構成5団体を含む全16団体）を「つくば発達障害就労支援ネットワーク（仮）」に移行する形で、連携・協力のために築いた枠組みを引き続き維持・強化していく。 －「つくば発達障害就労支援ネットワーク（仮）」の事務局は、ユニベルシタスつくばが担う。 <p>(2)訓練事業</p> <ul style="list-style-type: none"> －訓練事業は、すでに就労移行支援事業所として指定を受けている「カフェ・ベルガ」（つくば市竹園1-10-1）の一事業とすることで、障害者自立支援法上の就労移行支援事業として継続する（＝訓練事業の実施主体は「カフェ・ベルガ」となる）。 －今年度、「新しい公共モデル事業」の一環として本事業を実施したことには、「既存の福祉制度の枠組みでは対応が難しいケースの課題解決をめざす」という目的があった。障害者自立支援法上のサービスとすることと、この目的との両立をいかに図るかが課題となるが、受益者負担による事業収入、寄付金収入、助成金収入など、引き続き多角的に検討し、実現していく。 －今年度の訓練プログラムのふりかえりを踏まえ、より効果的な就労支援とするために、訓練期間を始めとして、いくつかのアレンジを行う。例として、以下が挙げられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・就職につなげやすくすることを目的に、訓練期間を2ヵ月から6ヵ月（基礎訓練→実践的訓練→求職活動）に延長し、終了後のフォローアップ体制も強化する。 ・就職前の企業とのマッチング、就職後の企業・訓練生への支援を行える体制とすることを目的に、ネットワーク構成団体や専門職・有資格者等との連携を密にする。 ・Kaizen提供のプログラムには知的・技術的に適応できない訓練生のための、軽作業等を中心としたサブプログラムも開発する。 <p>(3)啓発事業・円卓会議</p> <ul style="list-style-type: none"> －県内の事業所等を対象とした啓発事業、支援機関等による円卓会議は、ユニベルシタスつくばの事業として継続する（＝啓発事業の実施主体はユニベルシタスつくばとなる）。

2. 収支決算

(1) 収入

(単位：円)

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(B - A)	備考
補助金	6,950,000	6,273,339	-676,661	
受取利息	0	266	266	
合計	6,950,000	6,273,605	-676,395	

(2) 支出

項目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減(B - A)	備考
I 訓練事業				
人件費	3,850,000	3,485,842	-364,158	
謝金	270,000	270,000	0	
交通費	357,850	358,814	964	
什器備品費	1,000,000	997,097	-2,903	
消耗品費	220,000	149,080	-70,920	
通信費	5,000	5,380	380	
損害保険料	0	0	0	
II 啓発事業				
リーフレット制作・印刷費	210,000	115,605	-94,395	
説明会等開催費	200,000	79,395	-120,605	
人件費	270,000	237,750	-32,250	
外注費	100,000	90,000	-10,000	
謝金	100,000	65,500	-34,500	
通信費	21,150	24,830	3,680	
III 地域円卓会議				
謝金	270,000	310,000	40,000	
交通費	54,000	62,000	8,000	
開催費	12,000	20,662	8,662	
IV 活動基盤強化				
研修費	10,000	1,650	-8,350	
合計	6,950,000	6,273,605	-676,395	

<第2号議案> 2013年度事業計画および収支予算の決定を求める件

2013年度事業計画書

2013年4月1日から2014年3月31日まで

ユニベルシタスつくば

2013年度は、つくば市民大学開校5周年となります。さらなる飛躍のためにも、今年度は「リフレクション」を一つのキーワードとして掲げたいと思います。

リフレクションとは、一般に「振り返り」を意味します。ともすれば私たちは、「次の企画」だけに一所懸命になってしまい、広報には力を入れても、終了した企画の記録や成果報告は、ついおろそかになりがちです。しかし、たとえば講座でどのような学びがあり、地域課題の解決にどのように役立ったかを丹念に記録し、発信すれば、その講座の影響が及ぶ範囲は、参加者数の数十倍、数百倍に広がるはずで、そこで、5周年というタイミングを逃すことなく、「どのような事業を行ってきたか?」「それによってどのような成果が得られたか?」を振り返り、記録としてまとめて広く発信することを、本年度の事業として実施します。

「振り返り」の対象は、実績や成果だけではありません。開校からは5年ですが、構想・準備期間も含めると、その歩みは8年間に及びます。いま一度原点に立ち返り、「つくば市民大学はそもそも何のために生まれたのか?」「どのような状態の実現をめざしているのか?」といったミッションやビジョンをあらためて振り返ることも必要でしょう。それを踏まえ、パンフレットおよび要項「つくば市民大学へのおさそい」の改訂や、「参加・体験型の講座づくり虎の巻」(仮称)の制作・発行を実施し、つくば市民大学の「思い」を広く伝えていく活動につなげます。

そして、リフレクションには「反映」という意味もあります。振り返りを振り返りにとどめるのではなく、一つひとつの企画に、そしてつくば市民大学の未来に反映させていくことが、何よりも重要です。

「市民一人ひとりが互いの多様性を認めあい、一人でも多くの人々が幸せに生きられる社会」の実現に向けて、ともに歩んでいきましょう。

A. 講座・イベント等

- ・主催講座を計18講座(各学期6講座)企画・開講します。
- ・公開講座を計3講座(各学期1講座)企画・開講します。
- ・共催講座を計18講座(各学期6講座)企画・開講します。
- ・引き続き自主講座の企画・開講をサポートします。
- ・5周年記念の学園祭を会員による実行委員会にて企画・実施します。

B. その他事業

- ・5周年記念誌「つくば市民大学の歩み」(仮称)を会員による編集委員会にて制作・発行します。
- ・つくば市民大学パンフレット、要項「つくば市民大学へのおさそい」を改訂します。
- ・小冊子「参加・体験型講座づくり虎の巻」(仮称)を制作・発行します。
- ・つくば発達障害就労支援ネットワークの事務局を担い、セミナー(1回)、円卓会議(3回)を開催します。

C. 企画・運営のための会務

- ・つくば市民大学運営委員会とユニベルシタスつくば幹事会を定例化し、運営委員会を7月・11月・3月に、幹事会を4月・9月・1月に開催します。

2013年度 会計収支予算書
2013年4月1日から2014年3月31日まで

ユニベルシタスつくば

科 目		金額 (単位:円)		
I 経常収入の部				
1 市民大学事業(協働パート)にかかる収入				
事業委託料	中央ろうきん社会貢献基金	3,000,000	3,075,000	
助成金	アイラブつくば助成金	75,000		
2 市民大学事業(自主パート)にかかる収入				
個人会費	500円×160名	80,000	785,000	
団体会費	1,000円×25団体	25,000		
講座受講料	主催講座・公開講座	320,000		
運営協力費	自主講座・会場使用	160,000		
その他収入	講演謝金、書籍委託販売等	200,000		
3 就労支援事業にかかる収入				
寄附金	コーヒーを通じた寄附	100,000		100,000
経常収入合計			3,960,000	
II 経常支出の部				
1 市民大学事業(協働パート)にかかる支出				
講師謝金	源泉税込	450,000	3,075,000	
講師交通費	乗車券・駐車券代	9,000		
講座コーディネート費	源泉税込	750,000		
スタッフ人件費	受付スタッフ日当	1,414,400		
広報費	広告宣伝費	90,000		
什器備品費	カフェテーブル×4	38,000		
事務消耗品費	事務用品・消耗品費	60,000		
通信費	郵便代・宅配便代	90,000		
5周年記念誌制作費		150,000		
外部委託料	サーバドメイン維持管理費等	23,600		
2 市民大学事業(自主パート)にかかる支出				
運営コーディネート費		0		302,000
交通宿泊費	会議交通費	32,200		
会議費	運営委・幹事会日当(7回)	63,000		
その他支出	講演派遣、書籍仕入、講座茶菓等	200,000		
支払手数料	振込手数料	6,800		
3 就労支援事業にかかる支出				
交通宿泊費	イベント駐車券等	40,000	100,000	
会議費	円卓会議(3回)	36,000		
通信費	リーフレット送付等	16,000		
その他支出	寄附用コーヒー仕入	8,000		
経常支出合計				3,477,000
経常収支差額			483,000	
III その他資金収入の部				
受取利息		0	0	
その他資金収入合計			0	
IV その他資金支出の部				
事業委託料返戻	過年度分	0	0	
その他資金支出合計			0	
当期収支差額			483,000	
前期繰越収支差額			1,070,233	
次期繰越収支差額			1,553,233	

<第3号議案> ユニベルシタスつくば役員の選任を求める件

任期：2013年7月1日から2015年6月30日まで（敬称略、50音順）

再任	幹事	赤松 洋子
	同	奥平 基雄
	同	北村まさみ
	同	徳田 太郎
	同	松浦 幹司
新任	幹事	大野 覚
	監事	横田 能洋
退任	幹事	横田 能洋
	監事	井口百合香